

栄養部

1. スタッフ (2024年4月1日現在)

部長 (教授) (兼)	大河原 晋 (腎臓内科)
栄養室長	村越 美穂
栄養室長補佐	椎名美知子
主任管理栄養士	宮原摩耶子
管理栄養士	猪野瀬 濃 中原 忍 長嶺智重子 山口 美和 井上 奈々 宮下 智香 黒田 峰加 柳下 三奈 村田 恵
委託職員 (パート含む)	10名
管理栄養士	11名
栄養士	6名
調理師	46名
補助員	

2. 専門資格

認定施設

- 日本病態栄養学会
栄養管理・NST実施施設
- 日本栄養治療学会
NST稼動施設認定

認定資格

- 日本病態栄養学会
病態栄養専門管理栄養士
- 日本病態栄養学会・日本栄養士会
がん病態栄養専門管理栄養士
がん専門管理栄養士研修指導師
- 糖尿病病態栄養専門管理栄養士
腎臓病病態栄養専門管理栄養士
- 日本栄養治療学会
栄養サポートチーム専門療法士
がん専門療法士
周術期・救急集中治療専門療法士
- 日本栄養士会
静脈経腸栄養 (TNT-D) 管理栄養士
- 日本糖尿病療養指導士認定機構
日本糖尿病療養指導士
- 日本腎臓病協会

腎臓病療養指導士

2名

7) 埼玉県知事

埼玉県肝炎医療コーディネーター

2名

3. 理念・基本方針・目標の改定

自治医科大学附属さいたま医療センター 栄養部

○理念

栄養と食事による治療の支援

○基本方針

- 患者さんによりそう心を大切にします
- 衛生に配慮した、安全で質の高い食事を提供します
- 管理栄養士の責務と使命により、患者さんの栄養管理に努めます
- 自ら研鑽するとともに、治療に貢献する管理栄養士を育成します

2023年4月1日 制定

○栄養部の目標

- ・栄養の専門職として自ら行動し、多職種と連携しよう
- ・栄養部関係職員の信頼関係を保ち協働しよう

4. 業務実績

(1) 患者給食の提供

主治医が発行した食事箋に基づき、センター管理栄養士が患者個々の献立を作成している。給食委託会社のスタッフは、大量調理施設衛生管理マニュアル（厚生労働省2017年6月16日最終改正）に則り、食材調達、調理、盛り付け、配膳、下膳を担っている。2024年は米の価格高騰をはじめ、約320品目の食品に値上げがあり、1日1人当952円（税抜）の費用を要した。

締切時間後の食種変更等により1患者に2食目を提供、あるいは締切時間後の食止に係った費用は、年間83.7万円であった。

約束食事箋について、2024年は次の通り見直し、栄養療法の拡充を図った。

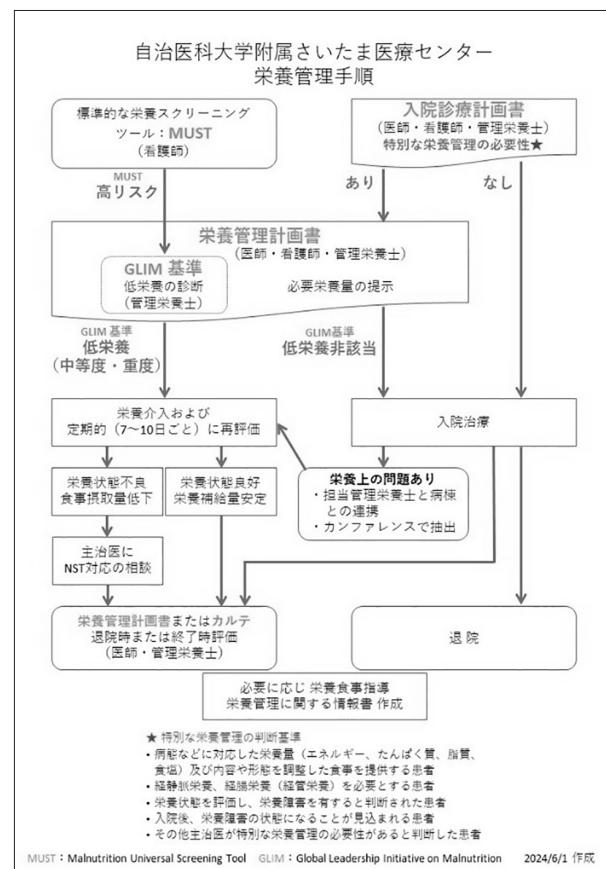
- 体格の大きい患者に合わせたエネルギー調整
2,000kcal食の新設
- 1日の食事を6回に分割することで食後の血糖値に配慮した妊娠糖尿病用の、エネルギー調整6回食の新設
- 五分菜形態である、エネルギー調整軟菜食の新設
食種は成人用に約100種、小児用に約20種を用意している。大分類による食事提供数を示す（表1）。

食種(大分類)	累計	(食)
1日当		
<成人>		
基本食	151,271	413.3
高蛋白食	897	2.5
エネルギー調整食	44,640	122.0
GDM 6回エネルギー調整食	349	1.0
軟菜エネルギー調整食	446	1.2
エネルギー蛋白コントロール食	32,266	88.2
七分菜食	19,101	52.2
五分菜食	9,431	25.8
三分菜食	6,703	18.3
易消化食	1,501	4.1
脂肪制限食	4,974	13.6
プレカット食	13,422	36.7
ハーフ食	26,192	71.6
さくら食	8,901	24.3
低刺激食	473	1.3
低残渣食	3,431	9.4
術後食	11,260	30.8
術後5回食	3,620	9.9
経口開始食	452	1.2
流動食	6,965	19.0
嚥下食	14,673	40.1
待ち食	1,314	3.6
無菌食	1,295	3.5
注腸食	581	1.6
じょく婦食	5,266	14.4
貧血食	639	1.7
妊娠高血圧食	592	1.6
特別指示食	5,602	15.3
経管栄養(食品)	32,756	89.5
栄養補助食品	1,423	3.9
<小児>		
学童基本食	2,871	7.8
幼児基本食(+調乳を含む)	5,632	15.4
離乳基本食(+調乳を含む)	1,358	3.7
小児流動食(+調乳を含む)	9	0.0
小児軟菜食(+調乳を含む)	977	2.7
幼児特別指示食(+調乳を含む)	982	2.7
調乳	16,158	44.1
総計	438,423	1,197.9

(2) 栄養管理

令和6年度診療報酬改定で入院料通則の改定があり、栄養管理手順を改めた。全ての入院患者を対象に、検証済みの栄養スクリーニングツールであるMUSTを使用し低栄養リスクを特定、リスクがある患者にはGLIM基準を活用して低栄養と判定し、介入を実施した。

低栄養であると判定した患者は7.8%であった。



入院診療計画書の「特別な栄養管理の必要性」が「有」の患者に、入院時栄養管理計画書を作成している。2024年は入院患者の98%に作成し、栄養管理に繋げた。

特定集中治療室における栄養管理に対する加算、栄養情報提供に対する加算の状況は下記の通りである。

早期栄養介入管理加算	4,302件
栄養情報連携料	1,455件

(3) 栄養食事指導

外来で化学療法を実施する腎臓がん患者に対して、オンコロジーセンターにおいて栄養指導を開始した。2024年より慢性腎臓病透析予防指導管理料の算定を開始した。

2024年の栄養食事指導数を示す（表2）。

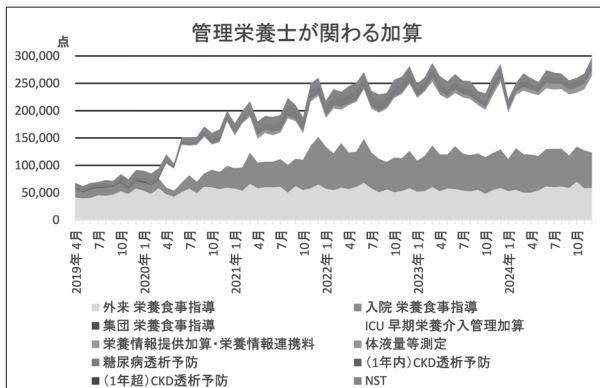
表2 2024年 栄養食事指導数

指導項目	件数
<個人栄養食事指導>	
糖尿病	916
糖尿病腎症	119
透析	109
腎臓疾患	1,178
高度肥満症	162
高血圧症	208
心臓疾患	98
高尿酸血症	9

脂質異常症	90
胃腸疾患	346
肝疾患	273
胆のう疾患	14
膵疾患	64
貧血	2
がん	482
摂食・嚥下機能低下	31
低栄養	19
小児アレルギー	5
入院準備外来	197
外来化学療法	116
循環器 (6E)	1,745
泌尿器 (がん)	8
その他	19
総計	6,210
糖尿病透析予防指導	322
慢性腎臓病透析予防指導	6

(4) NST (Nutrition Support Team)

医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、歯科衛生士が回診・カンファレンスを実施している。2024年の介入は150症例484件であった。



(5) 実習・研修生の受け入れ

管理栄養士養成施設である5大学より14名の実習を受け入れた。

5. 研究・学会活動等

学会発表

- 1) 猪野瀬 淳: 約5か月の集中治療を要した術後縦隔炎症例に対する栄養管理の経験. 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (JSPEN2024)、2024年2月15日、横浜市
- 2) 猪野瀬 淳: タスク・シフト/シェアによる栄養療法が治療に貢献したうつ血性心不全の一例. 第51回日本集中治療医学会学術集会、2024年3月15日、札幌市
- 3) 宮原摩耶子: 動脈硬化関連疾患栄養教育用簡易食品

群別摂取頻度調査票-糖尿病版 (DM-P1M1) を用いた新規栄養教育プログラムの効果. 第67回日本糖尿病学会 年次学術集会、2024年5月1日、東京

- 4) 猪野瀬 淳: 術後AKI患者に対して、ICU管理栄養士が栄養管理介入を行った一例. 第52回埼玉透析医学会学術集会・総会、2024年12月8日、さいたま市

表彰

- 1) 猪野瀬 淳: さいたま市栄養関係功労者として保健所長より表彰

6. 2025年の事業計画

(1) 患者給食の提供

- 1) 衛生管理・品質管理・精度管理・温度管理の安定化を目指しながら、効率化を図る。
- 2) 新厨房における調理工程の見直し、配膳、下膳のルート変更に対応し、滞りなく食事提供ができるよう整備する。
- 3) 日本人の食事摂取基準2025年版に対応するとともに、各疾病的ガイドラインに沿った食事療法の提供を行う。患者の高齢化に伴い、軟菜食の必要性、特別食加算に繋がる食種の在り方を検討する。

(2) 栄養管理

- 1) 限られた人数の管理栄養士において、業務の必要性を見定め、効率の良い体制整備を図る。専門性が求められており、引き続き人材育成に努める。
- 2) 病棟担当として管理栄養士の専門性を発揮する。タスクシフティングあるいはタスクシェアリングとなる業務については、管理栄養士として実施するよう努め、栄養の観点から治療を支援する。
- 3) 栄養食事指導、特に入院の栄養食事指導件数を維持・増加するよう努める。